

地域再生計画の進捗状況について  
(令和6年度)

1. 計画名称	「人と地域をスポーツで繋ぐ」中郷中学校跡地活用プロジェクト		担当課	資産管理部 財産活用課
	支援措置	補助金で整備された公立学校施設の財産処分手続の弾力化（文部科学省）		
	計画期間	令和元年11月8日から令和7年3月31日まで		

木更津市立旧中郷中学校については、本市の中心地から離れているものの、最寄りに高速道路インターチェンジがあり、大規模な屋内運動場等を有しています。これまでに旧中郷中学校においては、地域住民で組織するバレーボールやバスケットボール等の団体へ施設の開放を行うなど、地域のスポーツ交流拠点の場として一役を担っていました。

しかしながら、中郷地区については、少子高齢化の影響により人口減少が進行しており、旧中郷中学校の生徒数においても年々減少が進んでいる状況でした。そのような中、市内小中学校の規模見直しを行った結果、平成31年3月末に旧中郷中学校の廃校が決定したことにより、地域住民への施設開放も廃止されたことから、地域住民が身近にスポーツを親しめる場所がなくなるなど、旧中郷中学校の跡地活用は喫緊の課題となっていました。

このことから、スポーツを中心とした地域の活性化やコミュニティ機能の維持及び向上に資する有効活用を図るため、旧中郷中学校跡地活用事業として『スポーツクラブ事業』を行うものです。

本事業については、主に4つの取組から構成されており、県内外のスポーツ関係団体に向けた『宿泊事業』、本市をホームタウンとする社会人サッカーチーム拠点施設の整備やスポーツ教室の開催を行う『スポーツクラブ事業』、グラウンドや屋内運動場等の貸付を行う『施設貸出事業』、カフェの整備やオリジナルのスポーツグッズの販売等を行う『飲食・物販事業』となっています。

指標 1	基準値	実績値				目標値	今後の方針
	計画策定時	R 3	R 4	R 5	R 6		
地域住民向けスポーツ教室開催回数 (年間)	0回 (R1.11.8)	3回 (R4.3.31)	5回 (R5.3.31)	5回 (R6.3.31)	12回 (R7.3.31)	6回	引き続き、スタッフミーティングによりスタッフの指導を行い、魅力的なスポーツ教室が開催できるよう取り組むとともに、アリーナ(屋内運動場)やグラウンド等の場の提供を積極的に行い、中郷地区におけるスポーツ関係者の増加に貢献します。
<p>スタッフミーティングを毎週実施することにより、スタッフの指導力を向上させ、魅力的なスポーツ教室を開催することができました。</p> <p>その他、近隣にある中郷保育園にスタッフが同じサッカー教室を開催するなど、地域振興にも寄与することができました。</p>							
指標 2	基準値	実績値				目標値	今後の方針
	計画策定時	R 3	R 4	R 5	R 6		
地域住民向けスポーツ教室参加人数 (年間)	0人 (R1.11.8)	126人 (R4.3.31)	210人 (R5.3.31)	200人 (R6.3.31)	447人 (R7.3.31)	240人	引き続きSNSやイベント等による周知活動を継続し、スポーツ教室を継続的に開催していきます。
<p>地域住民向けスポーツ教室参加人数については、SNSでの周知や花火大会等のイベントを開催することにより、広く情報発信を行いました。その結果、多くの方々にスポーツ教室に参加していただくことができました。</p> <p>多くの参加者があったことにより、市内各所への訪問者が増え、まちの回遊性が高まり、地域振興に寄与することができました。</p>							
指標 3	基準値	実績値				目標値	今後の方針
	計画策定時	R 3	R 4	R 5	R 6		
旧中郷中学校への宿泊者人数 (年間)	0人 (R1.11.8)	0人 (R4.3.31)	1,800人 (R5.3.31)	3,300人 (R6.3.31)	4,095人 (R7.3.31)	4,000人	今後も『Kisarazu Sports Village』を活用し、スポーツ振興と地域の賑わいの創出に取り組みます。
<p>宿泊施設となる『Kisarazu Sports Village』は、旅行代理店からの紹介や地域の高校生の利用等により、市内外及び海外から多くの宿泊者を迎え入れることができました。</p> <p>また、昨年度に引き続きサッカー大会を開催することにより、県外からも多くの方に『Kisarazu Sports Village』や市内ホテルを利用してもらうことができ、地域の賑わいの創出に寄与することができました。</p>							

3. その他	令和元年11月8日 計画認定 令和6年3月28日 計画変更（計画期間の変更及びそれに伴う変更（KPI（目標値）の変更等））
--------	--

1. 計画名称	第2期木更津市まち・ひと・しごと創生推進計画		担当課	企画部 シティプロモーション課
	支援措置	まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）		
	計画期間	令和5年4月1日から令和9年3月31日まで		

木更津市では、全国的に進行する少子高齢化や人口減少等の人口構造の変化に対応するため、将来にわたって活力あふれる持続可能なまちづくりの推進に向けて「第3期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、本市ならではの地方創生に取り組んでいます。  
 本社が木更津市外に所在する企業が、本市の行う地方創生事業に対し一定額以上の寄附を行った場合、税制上の優遇措置（企業版ふるさと納税）が受けられます。

**企業版ふるさと納税とは**

国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税控除する仕組みです。損金算入による軽減効果（約3割）を合わせて、最大で寄附額の約9割が軽減され、実質的な企業の負担を約1割まで圧縮することができます。



**対象事業：第2期木更津市まち・ひと・しごと創生推進事業**

- ア 地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育む事業
- イ 多様な地域資源の循環によって、地域経済を活性化させる事業
- ウ 自然との共生をかなえる、アクアラインを活かした定住・交流を促進する事業
- エ 市民力・地域力を高め、持続可能な自立するまちを構築する事業

2. KPI	指標	基準値	実績値				目標値	今後の方針
			R3	R4	R5	R6		
	KPIは、「第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証」に掲載する「数値目標」を参照。							

3. 寄附の状況	対象事業	事業名称	事業費(円)	寄附受入額(円)	寄附者
		ア	図書購入費	12,500,000	100,000
	イ	学校給食を活用した有機米供給促進事業費	15,810,000	非公表	有限会社矢野鉄工
	ウ	中心市街地活性化事業	7,255,000	300,000	スマブラ株式会社
	ア	図書購入費	12,500,000	非公表	トーヨーカネツ株式会社
	エ	災害用備蓄用品購入費	6,000,000	1,000,000	有限会社丸和建材社
	イ	港まつり負担金	35,000,000	10,000,000	アサヒビール株式会社
	ア	きさらづ特認校児童送迎用バス運行委託事業費	29,229,000	非公表	三島光産株式会社
	ア	図書購入費	12,500,000	100,000	医療法人社団創彩会
	エ	災害用備蓄用品購入費	6,000,000	1,000,000	株式会社ウォーターエージェンシー
	ア	きさらづ特認校児童送迎用バス運行委託事業費	29,229,000	非公表	株式会社ゼロアクセル
	ア	きさらづ特認校児童送迎用バス運行委託事業費	29,229,000	非公表	岡野法律事務所
	イ	きさらづ地域循環共生圏推進事業費	3,000,000	非公表	非公表
	イ	オーガニックシティ戦略推進事業費	10,800,000	非公表	非公表
				23,800,000	13件

	事業名称	寄附金を活用した事業の概要や効果等
4. 活用事業	図書購入費	調査研究・閲覧・児童用の各分野にわたり資料を計画的に整備し、市民各層の多種多様な学習ニーズに応えるもの  生涯学習活動を推進するため、一般・児童図書、調査・研究用図書等の各分野にわたり計画的に資料を購入し、市民各層の多種多様な資料要求に応えるもの
	学校給食を活用した有機米供給促進事業費	オーガニックアクションプランに基づき、市が生産促進の取組をしている農業・化学肥料不使用米を学校給食へ供給する
	中心市街地活性化事業	リノベーション活用推進事業や駅ピアノ活用事業といった中心市街地整備推進機構の運営支援
	災害用備蓄用品購入費	災害が発生した場合、行政は人命救助・水防・火災延焼防止等の活動を行うと共に、避難者を受け入れ、その生活の援護を行う義務があるため、避難生活に必要な物資を十分に備蓄しておくことにより、災害時の避難者の避難生活を、一時的に援護することが可能となる。
	港まつり負担金	木更津港開発に尽力された先駆者の霊を慰め、木更津港を広く内外に紹介し、重要港湾としての振興、併せてかずさ地域の産業・観光振興並びに市民の連帯意識の高揚を図ることを目的に「木更津港まつり」を開催する「木更津港まつり実行委員会」に対し、負担金を支出するもの。
	きさらづ特認校児童送迎用バス運行委託事業費	きさらづ特認校3校に通学区域外から通学する児童の送迎バス運行業務を委託する経費
	きさらづ地域循環共生圏推進事業費	令和7年度に事業を実施予定。 オーガニックなまちづくりの推進に向、地域資源を活かしながら地域の課題を解決し、環境・社会・経済の好循環をめざす「ローカルSDGs事業」の創出に取り組む「木更津市オーガニックシティプロジェクト推進協議会」への負担金
	オーガニックシティ戦略推進事業費	令和7年度に事業を実施予定。 ・「木更津市オーガニックシティプロジェクト推進協議会」への負担金及びアドバイザーに要する経費 ・オーガニックシティフェスティバルの企画・運営業務委託に要する経費 ・ウェルビーイングな暮らしの創出に向けた国際フォーラムの開催に要する経費
	5. 今後の方針	新たに寄附をしていただける企業を開拓するため、新規開拓を外部委託するなどして、寄附の拡大を図る。
6. その他	令和5年3月31日 計画認定 令和5年8月17日 計画変更（・地方版総合戦略の確定によるKPI（目標値）の変更） 令和7年3月31日 計画変更（・計画期間の変更）	